

高校受験に合格するための基本的な勉強スケジュール その2

2 学力を上げていくスケジュール

- (1) 1, 2年生の復習
- (2) 入試問題に合わせた学習
- (3) 過去問で時間配分をつかみ、問題に慣れる

2 社会と理科と数学の受験勉強は基本的に同じ!!

基本的には問題パターンを覚えるために繰り返し学習をして、最後に練習問題を解くという流れになります。

学習ステップ① 練習問題を繰り返し解いていこう!

高校受験専用の問題集に合わせて勉強を進めて行きましょう。基本的な考え方としては、「自分の目指す高校のレベルにあったもの」を選ぶといいです。

後はひたすらその問題集を解いていきましょう。1年間単位で解いていくものになるので、最低でも3回くらいは解いた方が良いでしょう。

これに慣れながら、中学3年間で習った問題を復習していくというのが大事になります。



学習ステップ② 過去問や模試の問題を解いていこう!

ステップ①で繰り返し問題を解くことができると、自然に基礎レベルが上がってきます。このタイミングで一度入試問題の過去問か高校入試対策の模試を解くようにしましょう。この勉強をすると、自分が今どの分野が苦手なのかがわかります。その苦手分野を、再度問題集を解き直す教科書などを使って基礎からやり直すというような流れで、しっかりと復習をしていくことで学力の底上げができます。苦手な分野がわかったらそこを集中的に勉強しましょう!

学習ステップ③ 応用力を付けていこう!

ステップ②までしっかりやっけていけば、成績はすぐに上がります!

そこで更に学力を上げていくためには、応用問題を解いていくことが大事になります。具体的には、ワンランク上の問題集を解いていく。他の都道府県や私立の入試問題を解いていくという流れになります。

はっきり言ってこの3ステップはかなり地道な勉強です。すぐに結果が出るものではありません。最初のうちは、「頑張って勉強しているのに全然結果が出ない」というジレンマに陥る可能性があります。しかしある日突然グーンと成績が上がるときが来るので、そのタイミングが来るまでひたすら勉強を続けていきましょう!